

平成28年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①生徒が主体的に学習に取り組み、分かることが実感できるような、組織的な授業改善を推進する。 ②外部の教育資源を活用した幅広い教育課程を編成する。	①組織的な授業改善の手立てを「生徒主体の授業展開」と定め、生徒が自ら主体的に参加できる授業展開を追求する。	①生徒の特性、能力、取組みに応じてきめ細かくTT形態の授業を展開させ個別指導を行う。	①生徒の特性に応じた個別指導により、「生徒による授業評価」の「授業における充実感」の項目が昨年度よりも向上したか。					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	①個々の生徒の状況把握と情報共有によるきめ細かな指導体制を推進する。 ②自己肯定感の醸成による問題行動の未然防止に努める。	①支援にあり方について理解を深め、生徒一人ひとりの情報を把握、共有して、課題解決にあたる。	①個々の生徒の家庭環境や心身の状況等を把握し、教職員同士の情報共有と共通理解を図る。また、ケース会議等を必要に応じて開催するなど、教育相談体制を整備し、スクールカウンセラーや外部関係機関、専門機関との連携を図る。	①生徒情報の共有と共通理解を図る体制づくりができたか。また、ケース会議等の取組が、必要な生徒の指導に生かし、課題解決につながったか。					
3 進路指導・支援	①基本的な学力を充実・向上させ、進路希望を達成させる。 ②社会人としての自覚と勤労意欲を育成する。	①社会人として必要な要素を理解し、自覚を持って社会へと出られるよう支援する。	①外部講師による「産業社会と人間」の授業等の回数を昨年度よりも増加させ、職種による必要な知識の違いを理解させる。	①外部講師による授業展開の回数や内容が昨年度より多く充実したものであったか。					
4 地域等との協働	①保護者や近隣地域との協働体制を推進し、教育活動を積極的に外部に発信する。	①地域清掃等の地域貢献活動によって、近隣地域に信頼される取組を進める。	①夏休み明けの地域清掃活動等に全生徒を積極的に参加させる。また事後アンケートにより、生徒の自己肯定感について調べる。	①8割以上の生徒が地域清掃に参加し、自己肯定感を高めることができたか。					
5 学校管理 学校運営	①職員の学び合いによる人材育成を推進する。 ②外部連携による総合学科高校としての充実を図る。	①他の授業の良いところを取り込めるような機会を設定する。	①教科をこえて他の職員の授業を見学するなど他の授業の良いところを取り込める研究授業や研修会を実施する。	①充実した研究授業や研修会を実施し、職員の学び合いの場となったか。					